

久慈市 (岩手県)

さらなる飛躍を目指して —人・物流の流れの変化を捉える—

東日本大震災から10年

あの日・いま・みらい

東日本大震災から10年が過ぎました。甚大な被害を乗り越え、人々は歩み続けています。復興から創生へと向かう、被災地の今をお伝えします。



整備を進める「広域道の駅」イメージ図



久慈市沖の「洋上風力発電」イメージ図



久慈市長
えんどうじょうじ
遠藤 譲一

東日本大震災では、漁村を中心に沿岸部で大きな被害に遭いました。

また、久慈市はその後10年の間に、震災からの復興途上で平成28年台風第10号、令和元年台風第19号と、2度にわたる自然災害に見舞われました。

復旧・復興に際しましては、多くの皆さまから、さまざまな形でご支援をいただいたところです。復興のシンボルである三陸沿岸道路については、今年中の完成が見込まれ、人や物の流れが大きく変わろうとしています。この効果を最大限に生かすため、インターチェンジ付近に久慈地域の魅力発信拠点となる「広域道の駅」の整備を進めているほか、「洋上風力発電」などのエネルギー施策を中心に、まちづくりを進めてまいります。

次号は宮城県東松島市です